

# 「資産運用業宣言2020」に 関する当社取り組み

## はじめに

- ▶ 三菱UFJ国際投信（以下、「当社」）は、投資信託協会および日本投資顧問業協会の各理事会で採択され、2020年11月16日に開催された資産運用業フォーラムにおいて公表された「資産運用業宣言2020」（以下、「宣言」）の趣旨に賛同し、宣言が掲げる「社会的使命」および4つの「目指すべき姿」を実現するべく取り組んでいます。
- ▶ 本書では、資産運用業を担う当社の考え方と具体的取り組みについてまとめております。

### 宣言が掲げる『社会的使命』

- ◇ 資産運用会社の使命は、皆さまの安定的な資産形成に向けて最善を尽くすと共に、そのための投資活動を通じて社会課題の解決を図り、皆さまの豊かな暮らしと持続可能な社会の実現に貢献することです。

### 当社の考え方・取り組み

- ▶ 株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（以下、MUFG）が経営活動を遂行するにあたっての最も基本的な姿勢であり、全ての活動の指針とする「MUFG Way」に加え、当社独自の「[経営ビジョン](#)」を掲げ、経営戦略の策定など経営の意思決定のよりどころとするとともに、全役職員の精神的支柱として、諸活動の基本方針としています。
- ▶ 当社の経営ビジョン「「あなた」と「社会」の豊かな未来に貢献する」には、投資信託を通じお客さまの大切なご資金を運用する投信会社として、お客さまの資産形成・資産運用および持続可能な社会の実現に貢献したいという想いが込められています。
- ▶ [サステナビリティ](#)の観点では、「持続可能な社会」はわたしたちの豊かな未来の大前提であると考え、社会課題の解決とわたしたちの経営戦略を一体と捉えて企業価値の拡大・創造に取り組んでいます。投信会社として、責任ある機関投資家としての投資行動を通じて、投資先の持続的な成長と企業価値向上を実現し、豊かな未来に貢献します。一企業として、社会への責任を果たし、自らも持続的に成長することで、より良い未来社会の創造に貢献します。

## 1. 宣言の目指す姿『専門性と創造性の追求』

- ◇ 最良の運用成果と付加価値の高いサービスを提供するために、皆さまから大切な資産の運用を託されていることを役職員ひとり一人がしっかりと自覚し、その責任と誇りを持ち、常に高い専門性と多様な創造性を追求します。

## 当社の考え方・取り組み

### 【運用哲学】

- 投資信託分野において、日本で最も長い60年以上の運用実績を持ち、15年以上のキャリアを持つ運用プロフェッショナルが多数在籍しています。バブル崩壊やアジア通貨危機など、さまざまな経済状況のなかマーケットと対峙してきたプロだからこそ、困難な局面においても冷静かつ的確な判断を下せると考えています。こうした経験豊富な運用プロフェッショナルが、MUFGのネットワークを活用し、最良の投資成果をお届けすることを目標としています。

### 【運用高度化に向けた取り組み】

- 投資先企業との「目的を持った対話」や議決権行使等の[スチュワードシップ活動](#)を通じスチュワードシップ責任を果たすとともに、「投資先企業に求める三菱UFJ国際投信コーポレートガバナンス原則」に基づき、株主利益と持続的な企業価値の向上に努め、お客さまの利益最大化をめざします。
- 運用人材の育成・強化を通じて盤石な運用体制を構築しています。また、海外拠点や海外の運用機関も活用した運用ノウハウを蓄積し、運用力の向上に努めています。
- 受託者責任の観点から、運用を委託された資産の最良執行に努めています。

## 2. 宣言の目指す姿『顧客利益の最優先』

- ◇ 皆さまの資産の長期的利益を最優先することは、運用を託される我々資産運用業の拠って立つところであり、その徹底のために様々な取り組みを常に追い求め、皆さまからのご期待にお応えします。

### 当社の考え方・取り組み

#### 【お客さま本位の徹底】

- 当社が果たすべきフィデューシャリー・デューティー(以下、FD) を常に探求していく不断の取り組みこそが、“投資信託を通じて「あなた」と「社会」をつなぎ、より良い未来に貢献する”ことに繋がるとの考えから、FD を当社役職員に求められる思考様式・行動様式として位置づけ、全役職員でこれに取り組んでいます。
- 「アドバイザー・コミッティ」の助言など、外部の意見等を取り入れる態勢を整備し、お客さまの視点からの見方・声を業務の運営や改善に反映しています。

#### 【お客さまの利益を最優先に考える業務運営体制】

- お客さまの投資目的およびリスク許容度（「商品リスクランク判定マトリクス」「顧客適合性判定マトリクス」を作成）などに加え、市場動向を的確にとらえた商品の開発に努め、販売会社やインターネットによる直接販売サービスを通じて提供しています。
- 投資信託に係る信託報酬などのコストやリスクは、目論見書や運用報告書等において、お客さまに分かりやすい適切な開示を行なっています。
- ファンドの運用状況や相場変動時の投資環境などについて、タイムリーな情報提供を実施しています。
- お客さまの長期投資に役立つ資産運用のサポートや金融商品の理解に役立つコンテンツの拡充に努め、インターネットや SNS 等を通じ提供しています。
- 自社の運用ノウハウを駆使するとともに、国内外の幅広い運用機関ネットワークを活用した商品の開発により、商品ラインアップの拡充・整備に努めています。

### 3. 宣言の目指す姿『責任ある投資活動』

- ◇ 専門的な調査活動や投資先の企業などとの積極的な対話といった責任ある投資活動を通じ、運用資産の価値向上を図り、豊かで持続可能な社会の実現に貢献します。

#### 当社の考え方・取り組み

##### 【責任投資への取り組み】

- 社会課題の解決に積極的に取り組みながら、投資先企業等の持続的な成長と企業価値向上の実現を目指し、MUFGが制定した「[MUFG AM責任投資ポリシー](#)」を採択しています。
- お客さまから委託された大切な資産の運用を行う立場として、投資先企業が株主の利益と持続的な企業価値向上を十分に考慮して事業運営を図ることが大切であり、これらを達成するためには、企業のコーポレートガバナンスが適切に働くことが重要であると考えています。当社は、責任ある機関投資家としてステewardシップ責任を果たすに当たり、「投資先企業に求める三菱UFJ国際投信コーポレート・ガバナンス原則」に基づき、その状況を的確に把握し、当該企業との「目的を持った対話」などを通じて改善を促すことにより、株主の利益と持続的な企業価値向上に努め、受益者の利益最大化を図ります。
- 議決権行使が投資先企業との意思疎通における基礎を成しているとの認識の下、明確な議決権行使方針を有するとともに「目的を持った対話」を通じて、ステewardシップ責任を果たします。
- 様々な社会課題の中で投資先企業にとって影響の大きなESG課題を把握すると同時にグローバルな視点で見て多くの企業に共通する社会課題等に関する機会とリスクを踏まえた投資行動と「目的を持った対話」等を通じて投資先企業の持続的な成長を促し、投資パフォーマンスの向上をめざします。こうした取り組みが投資先企業に事業を通じた社会課題解決を促し、ひいては社会全体のサステナビリティに寄与すると考えています。

## 4. 宣言の目指す姿『信認の獲得』

- ◇ 運用哲学をはじめ自らの強みを明らかにし、切磋琢磨しながら、運用力や提供する商品・サービスの更なる向上を図ることで、今まで以上に皆さまにご信認いただき、より多くの資産の運用を託されることを目指します。

### 当社の考え方・取り組み

#### 【経営体制】

- 運用経験をはじめ資産運用サービス提供に必要な知見を十分に有する取締役を配置し、会社の持続的な成長を目指す長期的運営を図るとともに、社外取締役として高い見識に基づく客観的かつ専門的な視点を持つ者を複数選任することで、内外の知見を融合し、経営戦略の方向付け、経営の実効性・監督機能を高度化しています。

#### 【運用における利益相反管理態勢】

- 利益相反管理方針を定め、役職員一同がこれを遵守することによって、お客さまの利益を不当に害することがないよう、また、MUFGフィデューシャリー・デューティー基本方針に基づき、お客さま本位の業務運営を実現することができるよう、万全を尽くしてまいります。
- 責任ある機関投資家として適切に受託者責任を果たすため、「責任ある機関投資家」の諸原則「日本版スチュワードシップ・コード」の受入を表明し、一層のガバナンス強化を目的として「スチュワードシップ諮問会議」を設置しています。本諮問会議は、お客さまから委託された資産の運用における議決権行使や投資先企業との「目的を持った対話」および投資行動が、投資家の利益最大化を確保するために十分かつ適切であることを検証します。独立性・中立性を確保するため、取締役会が指名する3名で構成し、構成員の過半を社外第三者とします。

#### 【プロフェッショナリズムの発揮】

- 一人ひとりがプロフェッショナルとして、研修等を通じた知識・スキルの向上により、お客さまからの更なる信頼の獲得をめざします。